



2017年9月

居住者の皆様へ

Asahi Monthly Report

防災対策について

①自宅避難のすすめ

マンションは一般的に耐震性に優れ、地震災害に強いとされています。多くの自治体では自宅での生活が可能な限り、住み慣れた自宅で避難生活を送る「自宅避難」を推奨しています。ただし、家具の転倒・落下・移動防止の対策、非常備蓄品の準備といった「自助」や、マンション住民同士の助け合い「共助」が結びついて初めて自宅避難が可能になります。

- ・L型金具で家具と壁を直接固定しましょう。
- ・家具の天板の両側面につっぱり棒を設置しましょう。
- ・食器棚には扉の止め金具をつける、ガラスの飛散防止フィルムを貼るなどの対策を行いましょう。ガラスの飛散に備えて寝室の身近な場所にスニーカーなどを用意しておきましょう。

②家族の安否確認

大規模な震災が発生した際に、家族が全員揃っているとは限りません。自身の身の安全の確保ができ次第、家族の安否確認を行きましょう。災害直後は大勢の人が電話や電子メールを使うので、伝言ダイヤル「171」や、携帯電話災害伝言板といった安否確認サービスの利用方法を事前に確認しておきましょう。

③非常備蓄品の用意

- ・非常備蓄品は、最低でも3日分用意しましょう。
- ・高層階にお住まいの方はエレベーターの不通に備え、より多く備蓄しましょう。

【非常備蓄品の例】

現金（※小銭含む）・預金通帳・印鑑・免許証・健康保険証・飲料水（1人1日3リットル以上）・缶詰・レトルト食品・インスタント食品・ガーゼ・包帯・ばんそうこう・消毒薬・粉ミルク・哺乳瓶・かぜ薬・解熱剤・生理用品・なべ・わりばし・洗面用具・缶きり・栓抜き・紙コップ・紙皿・携帯ラジオ・電池・卓上コンロ・ヘルメット・マスク・ガスボンベ・固形燃料・ティッシュペーパー・トイレットペーパー・ライター・着替え・新聞紙・軍手・タオル・ごみ袋・雨具